

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.25 (2018.4.27)

平成30年度スローガン
みんなで目指す顧客感動経営
140年企業としての誇り
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

56期がスタートしました。新たに2名の新入社員を迎え、各部門の受注状況・見込みも含め概ね順調な滑り出しをしております。新年度式・経営計画発表会で説明した通り、今期は新たな飛躍の第一歩となる大切な年となります。土木部は3月に大型県工事をJVで受注、鉄道工部部から1名を配置転換したことで受注能力も向上しており今後は楽しみな状況です。鉄道工部部は若年層が順調に育っており、JR東日本・ユニオン建設様等からも昨年以上の発注予定があるとの情報を頂いております。建築部は今期も公共・民間それぞれ発注見込みの工事があることから、昨年度並みの受注が期待できます。地盤事業部は春の到来とともに本格的に住宅着工が始まり、3台フル稼働の日も多くなっております。R+ハウスに関しては昨年一年間の勉強会開催により、認知度も向上しており2年目での大幅な飛躍を期待しております。



今期の重点施策事項から数点挙げるとすれば、まずは設備投資とシステム投資による生産性の向上です。国が進める働き方改革に対応するためには、i-constructionなど省力化・効率化のためのハードウェアへの投資と、IT・ICT・IoTなどのシステム投資による仕事の効率化に真正面から取り組む必要があります。今後ますます困難になることが予想される人材確保の為に、最低でも4週6休をまずは達成しなければなりません。決して「無理だ」と思考停止することなく「打つ手は無限」を基本的な考え方として、実現のための方策を全ての部門で知恵を出し合い考えてください。二つ目は「健康経営」への一歩踏み込んだ取り組みです。目玉の「禁煙手当」の申請者は27名に上りましたが、33名が喫煙者ということが判明しました。喫煙率は55%となり、日本人男性平均の28.2%と比較しても2倍の喫煙率ということになります。喫煙者の皆さん、是非禁煙にチャレンジして「禁煙手当」を申請してください。

2次検診受診に際しては新たに「特別休暇」を取得できることとし、併せて要再検者は「2次検診の受診義務がある」ことと就業規則を変更しました。病気になって一番苦しい思いをするのは本人、家族も辛い思いをしますし、会社としても突然の長期療養のための休職は大きなダメージとなります。最終的に自分の体は自分しかわかりません。健康管理には十分留意して56期も良い年にしたいものだと思います。

「建設業の経理」取材記事



昨年12月12日に取材を受けた「インバエーション探訪」が掲載された春号が出版されました。大変良くまとまっており、私が和賀組に入社してからの想い取り組みを具体的に紹介いただいております。

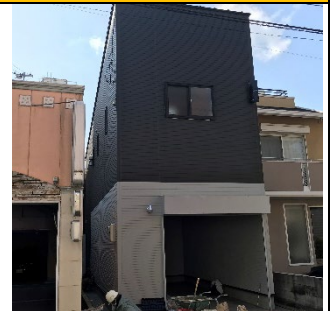
歓送迎会



3月31日、プレスワンにて行われ、退職された高橋稔さんは挨拶の中で、和賀組での12年間を振り返り「人生で一番長く居た会社です」と想いを話して頂きました。最近奥さんと車で走っているのを見かけます。焼肉大会でお会いできるのを楽しみにしております。

アールプラスハウス長崎東

3月23・24日アールプラスハウスを長崎で展開している小宮建設様を訪問しました。



長崎は平地が少なく、間口6mにも満たない土地でセンスの良い住宅を建てていました。